

従来型観光地での地域の魅力の再発見または創出と、それを活かした集客力回復とまちの再構築に関する調査

1. 趣旨

本調査は、東京からおよそ100キロ圏内に立地する「従来型観光地」である栃木県藤原町、群馬県伊香保町、山梨県石和町を対象とした、観光とまちづくりに関する調査である。

これらの地域では、これまでの団体型観光による需要を優先して個々の旅館が建設された結果、まちが無秩序に肥大化したうえ、これらの施設が老朽化している。さらに、団体宿泊客の減少の影響を受け、特にバブル期の過剰投資による余剰施設も多く発生しており、地域の主な就業先である第3次産業の衰退等が進み、地域経済に深刻な影響が出ている。

本調査では、上記3地域をモデルとして、地域の魅力の再発見又は創出等を行ううとともに、まちの景観を壊している遊休施設を解消するなどのまちづくりの再構築をすることにより、大都市からの日帰り圏に立地するという利点を活かして、現在の個人客中心の観光需要に適応した地域への転換を図り、同様の課題を抱える全国の大都市圏周辺の従来型観光地の活性化に応用できるノウハウを抽出・整理する。また、肥大化したまちの再構築方策の検討は、これまで拡散傾向にあった市街地の諸機能を都市中心部に集積する「コンパクトシティ」の実現に資するものである。

2. 事業概要

- (1) 各調査対象地域の魅力の再発見または創出(コンセプトの検討)
- (2) 各調査対象地域の再発見された魅力を活かした集客力回復及びまちの再構築の方策
- (3) (1)～(2)を踏まえて導き出される、同様な課題を抱える地域に応用可能な普遍的な対応方策

〔問い合わせ先〕

国土交通省関東地方整備局建政部計画管理課
担当者 廣江、矢野、亀田
(代表)048-601-3151 内線6131
(直通)048-600-1905

国土交通省関東運輸局企画振興部観光振興課
担当者 狩野、矢部、池田
(直通)045-211-7265